

油事故多発！ 流出注意！！

寒さが一層厳しい季節となり、暖房機器の使用に伴って、灯油等の油流出事故が増えています。今季、長井管内では12月に3件、1月10日時点で1件発生しており、原因は給油中に目を離したり、ホームタンクの配管の劣化による漏出や、誤操作等によるものです。水道水の安全な利用等の為に、油流出がないよう安全確認を行いましょ。

◎油流出事故はどうして起こるの？

原因の多くが人的ミスによるものです。給油やポリタンクに小分けする時にその場を離れてしまったり、ホームタンクの劣化や落雪による配管の破損・脱落等、人の不注意や点検不足が引き起こしています。

◎油流出事故はどんな影響があるの？

油は道路わきの側溝や水路を通じて、川に流れ込みます。
→水道の水が臭くなります。規模によっては断水し、水の利用は給水車を頼ることになります。
→農作物や魚類などに被害が及ぶと、野菜や魚などの食の安全に関わってきます。
→流出した油の回収は大変困難で、生態系に悪影響を与えてしまいます。

◎油流出の発生、発見の時はどうすればいいの？

近くの消防署・警察署、市町村役場、国や県の機関に連絡しましょう。自分で清掃しても、雨が降って流れ出たり、地面にしみこんだ油が時間が経って水路に出てくる場合があります。流出した油を水で洗い流すことは被害の拡大につながりますので、絶対にしないでください。

◎油流出事故はどのように対応されるの？

連絡を受けた関係機関が現場の確認に向かい、油の撤去作業と、河川への流出がないか巡視を行います。なお、油の回収に必要な費用は、事故を起こした原因者が負担することになります。気をつけましょう。

油流出事故を防ぐための心掛け

- ① その場を離れない
- ② 配管の場所には目印を
- ③ 落雪に注意して
- ④ 定期点検を怠らない

ホームタンクなどから灯油を小分けするときは絶対にその場を離れないようにしましょう。除雪による配管の破損を防ぐために目印を立てておきましょう。また、万一に備え防油堤を設置しておく安心です。屋根からの落雪による配管の破損・脱落やホームタンクの転倒に注意しましょう。配管やホームタンクの定期点検に努めましょう。

●あけましておめでとうございます●
本年もよろしくお願ひ申し上げます

m(_ _)m 2014



国土交通省 山形河川国道事務所 長井出張所

〒993-0002山形県長井市屋城町4-39

TEL:0238-88-2310/FAX:0238-84-1142

<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syuchu/nagai/>